

経尿道的尿路結石碎石術における周術期合併症と術後尿管狭窄症に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年11月2日～2021年3月31日

〔研究課題〕

上部尿路結石症に対する経尿道的尿路結石碎石術における周術期合併症と術後尿管狭窄症に関する全国調査

〔研究目的〕

上部尿路結石症に対する経尿道的尿路結石碎石術における手術合併症の種類、頻度を明らかにすることです。

〔研究意義〕

近年の医療機器と技術の進歩に伴い尿管鏡を用いた経尿道的尿路結石碎石術(Transurethral Ureteral Lithotomy:TUL)が増加している。TULは各施設において比較的導入し易く、良い手術術式であるが、各施設独自のやり方で手術を行っているのが現状であり、標準術式として確立しておらず、手術合併症の種類、頻度も変化してきていると考えられます。本研究では、この上部尿路結石症疾患に対する経尿道的尿路結石碎石術の日本の現状を明らかとするため、過去の症例のデータを集積したいと思います。

〔対象・研究方法〕

この研究は倫理委員会承認日から2021年3月31日まで実施いたします。その対象患者さんは2017年4月1日から2020年3月31日までの3年間に帝京大学ちば総合医療センター泌尿器科において上部尿路結石症に対して経尿道的尿路結石碎石術を施行し周術期合併症を発症した患者さん。当院では30例（全国で300例）の情報収集を目標にします

研究・調査項目

- ・ 患者背景：性別、年齢、身長、体重
- ・ 画像検査の結果：手術前水腎症の有無、手術前尿管ステント留置の有無、尿路結石部位、結石サイズ（最大長径）、結石の硬さ（CT値：HU）、尿管狭窄症に対する治療方法
- ・ 入院期間日数
- ・ 尿管ステント抜去時期
- ・ 術後経過観察時期

以上を当院電子カルテより抽出します。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科

〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科 教授 納谷幸男

研究分担者: 帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科 助教 芳生旭辰

住所: 〒299-0111 千葉県市原姉崎 3426-3

TEL: 0436-62-1211 (代表)〔内線 5359 〕